

みんなで公園に親しもう

公園まつり

町内の公園を皆さんに知っていただき、公園に親しんでもらおうと10月31日、公園まつりが保田ヶ池公園で開催されました。今年で8回目を迎えるこの催し。ミニ動物園や自然の素材を使ったリース作り、ディスクゴルフ体験、おしるこのサービなどが行われ、およそ600人の参加者は、それぞれに公園での遊びを楽しみました。友達と参加した女の子は「ウサギやヤギがいつも公園にいたらいいな」とかわいがっていました。



実際の対局で腕試し

三好町民将棋大会

伝統の遊びを通して親ほく、交流を深めようと10月24日、三好町民将棋大会が中央公民館で行われました。11月の文化祭行事の一つとして、文化協会が毎年開いているこの大会。今年は小学生からお年寄りまで24人が参加し、レベルに合わせ3クラスに分かれて腕を競いました。中部小学校6年の岩井敦くんは「いつもはコンピュータを相手にしているので、全然感覚が違って楽しいです」と駒の感触を味わっていました。



マラソン大会に生かそう

増田明美さん学校訪問

元マラソン選手の増田明美さんが10月22日、三好丘小学校を訪問しました。これは、子どもたちに体を動かす楽しさ、面白さを知ってもらおうと、増田さんが3年前から行っている活動です。この日は、5、6年生が、腕の振り方や姿勢、足の上げ方といった3つのポイントを教わり、全員で校庭をランニング。最後の質疑応答で増田さんは「12月のマラソン大会で今日覚えたことを生かしてください」とエールを送っていました。



「収穫の秋」を満喫

ふれあい収穫祭

ふれあい収穫祭が10月23日、皆さんの郷で開かれました。これは、地域で生産された農産物を地域で消費する「地産地消」運動の一環として、毎年この時期に行われています。気持ちのいい秋晴れの下、訪れた人たちは野菜や花きを買求めたり、ふかし芋や芋ご飯、ふれあい農園で採れた野菜を使った豚汁などを食べたりして、「収穫の秋」を満喫。またふれあい農園コンテストの表彰も行われ、6人の皆さんが受賞しました。



子どもの気持ちになって

三好高校生「秋の体験学習」

福祉や保育体験などを通して人々と接し、普段とは異なる環境を経験して自分自身の在り方を考えようと10月28日、三好高校の一年生が秋の体験学習を行いました。なかよし保育園での保育体験には、14人の生徒が参加。元気に走り回る子どもたちと一緒に、砂場やブランコで遊んだり、芋掘りをしたりして触れ合いました。遠藤佑真さんは「最初は緊張しましたが、すぐに慣れて仲良く遊べました」と感想を話していました。



思い出に残る事業

南中学校創立20周年記念事業・文化祭

南中学校が創立20周年を迎え、文化祭と併せて記念事業が行われました。「響く歌声 震える心夢の舞台で〜一唱懸命いざ咲かん南中花〜」のスローガンのもと、10月29日には生徒や地区の皆さんによる発表が、30日には記念式典や木保達彦さんによる講演、金重軍さんによる揚琴の演奏、合唱コンクールなどを開催。合唱コンクールでは3年2組が最優秀賞を受賞し、残り少なくなった中学校生活の新たな思い出を刻みました。

